

令和6年度

渋谷区立渋谷本町学園中学校 学校説明会

令和6年 9月18日(水)

午後14時00分 ~ 午後14時45分

地下2階 中体育室



もくじ

1	渋谷本町学園 学校経営方針	1
2	週時程表	6
3	評価・評定について	7
4	キャリア教育／進路	8
5	服装・学校生活・部活動について	15
6	特別支援教育	18

本校のミッション

世界に冠たる国際都市「渋谷区」の公立学校として
渋谷区内唯一の小中一貫教育校として
渋谷区立小中学校のモデルとなるく未来の学校>を実現する。

教育目標

社会を生き抜く人間の育成を目指し、次の教育目標を定める。

かんがえる 心ゆたかに たくましく

学校経営の視点

- 教職員に求められる最も大切な資質・能力「人権感覚」を高める。
- 児童生徒と教職員の「心理的安全性」を高める。
- 児童生徒のウェルビーイング向上の視点から教育活動の充実を図る。
- 児童生徒の「エージェンシー」を育成する。
- 危機管理能力の層の向上を図る。
- 様々な教育課題の解決を図り、10年先の「未来の学校」を実現する。

取組項目

かんがえる

- 教科における「探究」的な学び
- 「シブヤ未来科」の充実
- 英語教育重点校の取組充実
- 小中一貫教育プログラム推進
- ICTの有効活用
- 読書活動の推進

心ゆたかに

- 発達支持的生徒指導の徹底
- 不登校対応の充実
- いじめの早期発見・早期対応
- 道徳教育の充実
- 特別活動の充実
- 特別支援教育の充実

たくましく

- 健康で安全な生活の実現
- 豊かなスポーツライフの実現
- 健康教育の推進
- 安全教育の充実
- 「SOSの出し方教育」の充実
- 時代に適した部活動の推進

その他

- 校務DX(働き方改革)の推進
- コミュニティ・スクールの機能充実
- 「本物」から学ぶ学習活動の拡充

重点項目

- 授業改善と児童生徒の学力向上 ○ シブヤモデル「未来の学校」の実現 ○ 英語コミュニケーション能力の育成
- 9年間を見通した特別支援教育の充実 ○ 学校DXの層の推進 ○ 不登校児童生徒の居場所づくりや学習指導の充実
- 小中一貫教育のさらなる充実 ○ エビデンスに基づく指導改善のPDCAサイクル確立 ○ 働き方改革と人材育成システムの確立

渋谷本町学園は

「意見を言っても大丈夫(話しやすい) ・質問しても大丈夫(助け合い)
・失敗しても間違っても大丈夫(挑戦奨励) ・自分らしく振る舞っても大丈夫(個性尊重)」 な学校作りを進めています。

令和6年度 学校経営方針

渋谷区立渋谷本町学園

統括校長 清野 正

1 本校のミッション

世界に冠たる国際都市「渋谷区」の公立学校として

渋谷区内唯一の小中一貫教育校として

渋谷区立小中学校のモデルとなる＜未来の学校＞を実現する。

2 学校経営のキーワード

(1) 教職員に求められる最も大切な資質・能力「人権感覚」を高める。

(2) 学年・学級児童生徒集団並びに教職員集団の「心理的安全性」を高める。

私たちの渋谷本町学園は

- 意見を言っても大丈夫(話しやすい) ○ 質問しても大丈夫(助け合い)
- 失敗しても間違っても大丈夫(挑戦奨励) ○ 自分らしく振舞っても大丈夫(個性尊重)

な学校を目指しています。

(3) 児童生徒のウェルビーイング向上の視点から教育活動の充実を図る。

○ 以下の「児童生徒がウェルビーイングを認識している状態」を実現する。

- 自分には、よいところがある。 ○ 先生は、私の良いところを認めてくれている。
- 将来の夢や目標を持っている。 ○ 学校に行くのは楽しい。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ○ 友達関係に満足している。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。
- 地域や社会を良くするために何かしてみたい

(4) 児童生徒の「エージェンシー」を育成する。

「エージェンシー」とは…

- OECD Education2030 における指摘
- 変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力
- 児童生徒が、その属する社会(渋谷本町学園)に対して責任を負うこと、また、そのことを自覚していることがエージェンシー概念の基盤

(5) 直面する教育課題の解決を図り、10年先の「未来の学校」を今、実現する。

【教育課題の例】

- 授業改革及び探究的な学びの実現
- ラーニングコモンズ設置など「学びの枠組」の改革
- AIを活用した最先端の英語教育
- STEAM教育
- いじめ対応
- 不登校
- 豊かなスポーツライフ実現
- 働き方改革
- 学校DX
- 人材育成
- その他

3 取組重点項目

- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの**授業改善を推進**し、児童生徒の学力向上を図る。
- ・**渋谷区教育委員会研究モデル校**として、教科等における「探究」的な学びの充実を図り、シブヤモデル「未来の学校」の実現に向けた「新たな学び」を創造する。
- ・**英語教育重点校**として、ALTやICTを有効活用し、児童生徒の英語コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・小・中学校共に特別支援学級が設置されている強みを活かし、**9年間を見通した特別支援教育の充実**を図る。
- ・学習指導及び校務におけるICTの一層の利活用等により、**学校DXを推進**する。
- ・さくらルームの活用等により、**不登校児童生徒の居場所づくりや学習指導の充実**を図る。
- ・教育課程の工夫や異学年交流の拡充など**小中一貫教育のさらなる充実**を図る。
- ・ダッシュボードの活用等により、**合理的根拠（エビデンス）に基づく指導改善のPDCAサイクル**を確立する。
- ・これからの時代を見据え、**ウェルビーイングの視点からの教育活動の充実**を図る。
- ・働き方改革を進めるとともに、**新採等が伸びやかに育つ人材育成システム**を構築する。

4 教育目標・取組項目

【学園の教育目標】

社会を生き抜く人間の育成を目指し、次の教育目標を定める。

かんがえる 心ゆたかに たくましく

【学園歌】

本町のここから世界へ

本町のいまから未来へ

かんがえる

(1) 渋谷区教育委員会研究モデル校の研究推進

- 教科における「探究」的な学びの実践
- 「シブヤ未来科」の取組充実・推進
- ラーニングコモンズの設置及び有効活用
- HACHIアプリ等による学習の振り返りの習慣化・定着

(2) 英語教育重点校の取組充実

- 外国語活動・外国語の授業改善・充実
- A L T との協働及び I C T の効果的な活用
- English Friday、English Café、British Hills での英語宿泊学習の充実
- 6 年生 E S G、8 年生 G T E C、9 年生 E S A T - J の結果分析及び指導改善
- AI 等のデジタル技術の効果的な活用や指導改善等に関する実証研究推進（文部科学省）

(3) I C T の有効活用

- 授業におけるタブレット端末の活用推進
- A I ドリル Q u b e n a 及び電子書籍サービス「Y o m o k k a !」の有効活用

(4) 読書活動の充実

- 学校図書館及び移動図書館の活用推進
- 学校図書館専門員や「しぶやおすすめの本 5 0」の効果的な活用

心ゆたかに

(1) 発達支持的生徒指導の徹底

- 日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話等の充実
- 教科の指導と生徒指導の一体化
 - ・ 自己存在感の感受を促進する授業づくり
 - ・ 共感的な人間関係を育成する授業
 - ・ 自己決定の場を提供する授業づくり
 - ・ 安全・安心な「居場所づくり」に配慮した授業

(2) 不登校対応の充実

- 生活指導部および不登校対策推進委員会を中心とした組織的な対応
- さくらルームの有効活用
- ダッシュボードや One note を活用したアセスメントの充実と情報共有

(3) いじめの早期発見・早期対応

- いじめ防止基本方針に基づく、いじめ対策委員会を中心とした組織的な対応
- 「心の天気」や学校生活アンケート等の教育データ・ダッシュボードの有効活用
- いじめの訴えに対する誠意ある受け止めと徹底した事実確認及び記録

(4) 道徳教育の充実

- 特別の教科 道徳の授業時数確保
- 道徳授業地区公開講座の工夫・改善

(5) 特別活動の充実

- 児童会・生徒会活動や委員会活動の活性化及び児童生徒の主体性の涵養
- 小中一貫教育校の強みを生かした学校行事の工夫・改善

(6) 特別支援教育の充実

- 特別支援学級設置校の強みを生かした教育の充実
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の充実

たくましく

(1) 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現

- 体育の授業における主体的・対話的で深い学びの充実
- 児童生徒が主体となった体力向上の取組推進

(2) 健康教育の推進

- 栄養士を中心にした食育の推進
- 薬物乱用防止教室やがん教育など健康と命の大切さを学ぶ学習機会の設定

(3) 安全教育の充実

- SNS等によるトラブルや交通事故等の未然防止など安全・安心な学校生活の構築
- 「SOSの出し方教育」の推進

(4) 時代に適した部活動の推進

- 児童生徒及び保護者のニーズを踏まえた部活動の推進
- 渋谷ユナイテッドや部活動指導員との連携および働き方改革との両立

その他

(1) 校務DX（働き方改革）の推進

- ペーパーレスの徹底やICT活用の工夫・改善
- 諸会議の時間短縮及び効率化

(2) コミュニティ・スクールの充実

- 学校運営協議会及び地域学校協働本部との連携
- 地域人材やその道のプロ等「ホンモノ」から学ぶ学習活動の充実
- 学校改善につながる保護者・外部アンケートや学校評価の工夫

令和6年度 週時程表

中等部・高等部（5年～9年）

♪チャイム

	月	火	水	木	金	
児童生徒登校	8:15～8:25					
♪ 始業	8:25(出席確認)					
朝礼 (月)	8:25～8:45	8:25～8:40		朝学習		
朝学活	朝礼・集会	8:40～8:45		朝学活		
移動時間	5分					
♪ 1校時	8:50～9:40					
休憩	10分					
2校時	9:50～10:40					
休憩	10分					
3校時	10:50～11:40					
休憩	10分					
4校時	11:50～12:40					
給食	12:40～13:15					
昼休み	13:15～13:35	(小)帰りの会 下校13:25		13:15～13:35	13:15～13:25	学活 (委員会の日) 13:15～13:25
		13:15～13:25				
移動/準備	5分					
♪ 5校時	13:40～14:30	13:30～14:20	13:40～14:30	13:30～14:20		
休憩	10分		10分			
6校時	14:40～15:30		14:40～15:30	14:30～15:20	委員会 14:30～15:20	
終学活 清掃※	15:30～15:40※	14:20～14:30	15:30～15:40※	15:20～15:30	クラブ 14:30～15:30	
児童生徒下校	15:45	14:30	15:45	15:30		

令和6年度 評価・評定について

1 定期考査（年4回）

- ①前期中間考査 6／11（火）・12（水）・・・5教科
- ②前期期末考査 9／ 3（火）・ 4（水）・ 5（木）・・・9教科
- ③後期中間考査 11／13（水）・14（木）・15（金）・・・9教科（9年生）
14（木）・15（金）・・・5教科（7・8年生）
- ④後期期末考査 2／19（水）・20（木）・21（金）・・・9教科（7・8年生）

2 評価の資料とするもの（各教科、時期により異なる）

<授業観察、定期考査、小テスト、単元テスト、実技テスト、ワークプリント、
作品、ノート点検など>

3 評価の観点

学習指導要領に基づいて、3観点で評価します。

（①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度）

4 観点別評価

達成率80%以上（教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの）・・・A

達成率50%以上（教科の目標に照らしておおむね満足と判断されるもの）・・・B

80%未満

達成率50%未満（教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの）・・・C

★3観点をそれぞれ33.3...%の統計割合で、評定します。

5 評定・・・各学年の学習目標に照らし、5段階に評定します。

90%以上の達成値（十分満足できると判断されるもののうち特に高い程度のもの）・・・5

80%以上90%未満の達成値（十分満足できると判断されるもの）・・・4

50%以上80%未満の達成値（おおむね満足できると判断されるもの）・・・3

20%以上50%未満の達成値（努力を要すると判断されるもの）・・・2

20%未満の達成値（一層努力を要すると判断されるもの）・・・1

6 通知表

前期・後期の最終日に渡します。

前期には前期評定、後期には後期評定と学年末評定（年間総合評定）を記載します。

渋谷本町学園中学校 における キャリア教育、進路学習 について

7～9年のキャリア教育

小中一貫教育校の良さを活かす

7学年	職場体験学習(3日間)
8学年	上級学校調べ
9学年	希望進路先見学・進路相談
8・9学年	上級学校授業体験 受験生の話を聞く会

A person wearing a green jacket and a white face mask is pushing a blue shopping basket through a supermarket aisle. The person is looking down at the basket. The shelves are stocked with various products, including packaged food and drinks. The floor is made of light-colored tiles.

[illegible]

この学校もかなり魅力的で、4年制大の経験をしてから1年建築士試験を受けられるという利点はあるが、この学校を卒業している有名な建築士が非常に少ないので、一般的資料の高校から大学に行くという進路図を主に図解を覚えていくというのを学んだ。

上級学校授業体験(8・9年・F組)



家庭科保育

韓国語



令和5年度 第9学年進路実績

国公立学校 (24人)

井草、石神井、新宿、神代、杉並、
総合芸術、第一商業、田柄、千早、
豊島、戸山、豊多摩、練馬工業、
府中東、松原、稔ヶ丘、目黒、雪谷、
芦花

令和5年度 第9学年進路実績

国公立学校 (24人) 専門高校

井草、石神井、新宿、神代、杉並、
田柄、総合芸術、第一商業、千早、
豊島、戸山豊多摩、練馬工業、
府中東、松原、目黒稔ヶ丘、雪谷、
芦花

令和5年度 第9学年進路実績

私立学校 (25人) スポーツ

科学技術学園、関東国際、國學院、駒場学園、
埼玉栄、下北沢成徳、実践学園、昭和鉄道、
青丘学院、正則、帝京、貞静学園、一ツ葉、
東亜学園、東京実業、東洋大京北、
日本学園、目大鶴ヶ丘、文化学園大杉並、
武蔵野千代田、目白研心

令和5年度 第9学年進路実績

通信制・サポート校・専門学校など（8人）**スポーツ**

S高、東京文理学院、クラーク記念国際、
さくら国際、第一学院、大智学園、
日本ウェルネス、屋久島おおぞら

特別支援学校（1人）

港特別支援

令和3～5年度 第9学年進路実績

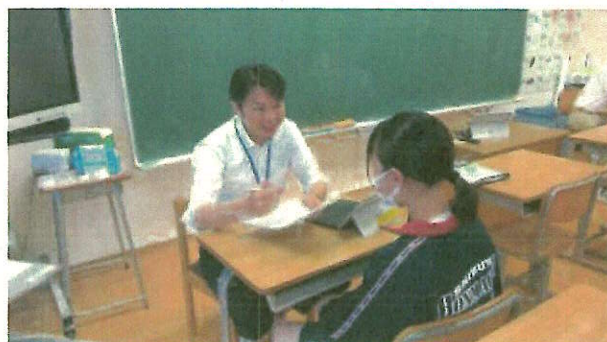
都立高校における 進学指導重点校等	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進学指導重点校	1	2	1
進学指導特別推進校	4	1	2
進学指導推進校	2	3	1
合計	7	6	4

主な受験対策

- ・教科対策
- ・面接対策(学年教員等、管理職)
- ・作文・小論文対策
- ・実技対策
- ・集団討論対策

主な受験対策

英語教育推進校として
ALT・ELSA for schoolsによる
中学校英語スピーキングテスト
(ESAT-J)対策



R6(現9年) 全国学力・学習状況調査

国語	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
渋谷区立渋谷本町学園中学校	52	9.3 / 15	62	10.0	2.9
東京都（公立）	70,932	9.1 / 15	61	9.0	3.4
全国（公立）	875,574	8.7 / 15	58.1	9.0	3.4

数学	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
渋谷区立渋谷本町学園中学校	53	10.1 / 16	63	10.0	4.1
東京都（公立）	70,949	9.1 / 16	57	9.0	4.2
全国（公立）	875,952	8.4 / 16	52.5	8.0	4.1

生徒を主語にした
新しい学びの推進により、
学力が向上
探究的な学びを通して
受験もサポート

渋谷本町学園標準服販売店のご案内

標準服を下記日程・販売店にて採寸いたします

標準服採寸受付期間：2025年1月30日（木）～2月14日（金）

取り扱い販売店

東京柔道衣工業（株）（東柔）

住所：渋谷区本町1-4-15-201
（初台駅前ファミリーマートのマンションの2F）
オートロックですので201を呼び出してください
TEL：03-3376-2441

ブティック ミセス

住所：渋谷区本町5-1-1
（渋谷本町学園第2グラウンド前）
TEL：03-3377-3583

お問い合わせの際は、販売店に直接ご連絡ください

▶標準服
（5～9年）

男女共通



▶服装（体操着・ジャージ）



▶部活動 文化部(令和6年度の場合)

美術部 (部員数 22 名)

英語部 (部員数 19 名)

吹奏楽部 (部員数 43 名)

第 64 回東京都中学生吹奏楽コンクール B 組銀賞

▶部活動 運動部(令和6年度の場合)

卓球部 (部員数 21 名)

渋谷区卓球大会

団体戦 優勝 個人戦男女準優勝

東京都大会 団体戦・個人戦出場

陸上部 (部員数 30 名)

東京都地域別大会 区部西部大会

共通女子四種競技 共通男子 110mH 入賞

東京都通信陸上大会

1 年女子 100m 6 位入賞

男女バスケットボール部 (部員数 55 名)

女子バレーボール部 (部員数 14 名)

渋谷区バレーボール大会第 3 位

ブロック大会出場

女子ソフトテニス部 （部員数 12 名）

水泳部 （部員数 14 名）

東京都中学校学年別水泳競技大会 出場

渋谷区民水泳大会

渋谷区部活動改革プロジェクト

渋谷ユナイテッド サッカー部 （本校部員数 32 名 ）

部活動と同時刻に本校にて活動

令和 6 年度は本校の部員数により中体連の大会にも参加

特別支援教育について

I 特別支援学級 F 組

<内容>

生徒の障がいの状況に照らして、「心身の健康・安全」、「対人関係の改善、集団参加」、「基本的生活習慣の育成」等を教育目標の中心とした教育を行っています。1学級8人で、基礎的基本的な知識・技術を学習します。

<希望の場合の手続き>

保護者の申込み → 渋谷区教育委員会就学相談にて判定

2 特別支援教室 くすのき

<対象生徒>

集団生活に困り感を抱いている、読む・書く・聞く・推論するなどの力に困難があるなど

<希望の場合の手続き>

保護者の申込み → 本校の校内委員会で検討 → 渋谷区教育委員会「特別支援教育支援検討委員会」にて判定します。

※渋谷区教育委員会の心理士の発達検査を受ける必要あり

3 支援員の配置

<対象生徒>

教室での授業の場面で、授業の内容に関して個別の説明や声かけを必要とする生徒

<希望の場合の手続き>

保護者からの申込み → 本校の校内委員会で確認 → 申請へ